（大正十年十二月十二日 第三種郵便物認可）　昭和十四年十月二十八日　［土曜日］　第五千六百五十九號　［一］

夕刊

宮城新聞

七十二　十月日發行

定價（朝夕刊合併）金五拾錢　（朝刊）金三拾錢　（夕刊）金貳拾錢　（日曜祭日翌日）金五拾錢　東京廣告料　一段金九拾錢　二段金壹圓八拾錢　三段金貳圓七拾錢　四段金參圓六拾錢　五段金四圓五拾錢　六段金五圓四拾錢　社告料　一段金貳圓七拾錢　二段金五圓四拾錢　三段金八圓壹拾錢　四段金拾壹圓貳拾錢　五段金拾參圓五拾錢　六段金拾五圓　社告料　一段金貳圓七拾錢　二段金五圓四拾錢　三段金八圓壹拾錢　四段金拾壹圓貳拾錢　五段金拾參圓五拾錢　六段金拾五圓　社告料　一段金貳圓七拾錢　二段金五圓四拾錢　三段金八圓壹拾錢　四段金拾壹圓貳拾錢　五段金拾參圓五拾錢　六段金拾五圓　社告料　一段金貳圓七拾錢　二段金五圓四拾錢　三段金八圓壹拾錢　四段金拾壹圓貳拾錢　五段金拾參圓五拾錢　六段金拾五圓

（日曜祭日翌日）東京廣告電話（一〇六五五八番）

碧城新聞會社

（朝刊）電話（一〇六五五八番）

天氣豫報

小名濱測候所發表

今晩　南西の風晴

明日　北西の風晴

この悩み

△○生

私は自慢ではないが廿五年來「水むし」に惱んでゐる。そして今でも大なり小なり手足のドコかしらにシユク〳〵さしてゐるので、この點私は水むしのオーソリテイーである。從つて水むしといふものに就て可なりの言ひ分をもつて居る

○

今の私の水むしは、惱み程の惡性でないので、殆ど手當など一切せず放置してゐる。年中一定の場所に二日目には癒ねて三日目にはまた出るといふ輕いのである。如何なる藥を用ゐても根治しないので今ではそんな野望は一切起さず藥もつけず自然のまゝにしてゐる。

○

局所が崩れ出す痛み、脇の下にグリ〳〵が出來る不快、その苦痛は到底筆舌のよく盡すところではない。殊に右掌一面から五指共總體に擴がつて、試驗際中にペンを持つことが出來なかつた時の愁慨さは今でも忘れ能はぬ忌々しさであつた

○

この病氣は醫者に言はせるとバイキンによる傳染病だといふけれども、殆ど同じ場所にだけ出て、外に傳染せぬ所から推して私は體質病だと獨斷してゐる。だからドンナ藥をつけても癒らないのだと自分では今は獨り諦めてゐる。極くヒドク出て來た時だけ氣安めに少し藥をつける程度にして平生は何も手當てせず放置してゐる。

○

私の結論によると、之を根治させる良藥は無い、といふことである。

水むしには色々の專門醫藥がある。何れも無効であることは、藥價の高下に拘らず同じである。

私は大概の水むし藥を一度は買つてゐる。何れも駄目である。しかも貰藥の一番癪に觸つた藥はボンヤリテイーである。類似藥も二日目には癒えてゆくものだから、必ずしも用藥を變しない。こゝに水ムシやの覗ひ所とインチキサがあるのだと推察される。

○

「シミズ、痛ます一回で効く」といふのが大概水蟲藥の能書である、然しそんなのは殆ど屁のカツパみたいなもので何のキヽメもないのである。

水むしは放置しておいても二日目には癒えてゆくものだから、必ずしも用藥を變しない。こゝに水ムシやの覗ひ所とインチキサがあるのだと推察される。

防空演習＝けさ詠める

赤井嶽男

○しとゞ降る雨の夜あけを「空襲」と呼び行く人の氣たゝ嬉しも

○裝ひの儘いねれば警報にとく起てる妻を咎く思ひぬ

○空襲のぞめきに子らも起き出でて戸のもに耳をひた傾くる

○防空群の人ら暗きに語り合ふ、激しき雨もいまは歇みたり

○高らかに「解除」を告ぐる人ありて東の空は白みそめたり

謝佐瀬翁見惠篆印

珠雲　小野務平

篆印雕成字々莊
波瀾邱壑箇中藏
謝翁付我以佳兒
惡筆愧無光焰揚

△濃尾大震災（明治二四）△三年兵役を二年とす（明治四〇）△蒙古獨立を宣言す（昭和一二）

10月28日

その日〳〵

○

立てる農夫は座せる紳士よりも尊し

フランクリン

講談

振袖横町

(64)

須藤鐘一

荻原萬象畫

襲撃（四）

庄作も、さては木太刀の一件でおさちが何かたくらんでのだなと悟つた。

「おや、それは〳〵飛んだお世話さまになりまして何ともお禮の申し上げやうもございません。サア〳〵どうぞお上り下さいますやう……」

「なに、禮を言はれるほどのことではない、拙者はかゝる聞くとクルリと振り向いて「小川町の大先生！」と、おゝむ返しに言つた。

平九郎は、通りすがりに一寸覗いたのであつた。

長十郎は、おさちの聲をだけに平九郎の腕前もたいしたことはないであらうとなかを括つてゐるのである。

平九郎は悠然として、長十郎の言葉を聞いてゐたが「刀に掛けても……とはおだやかならぬお言葉、なれどお望みとあらばお相手申さう。こゝは店先き、幸ひ裏に空地があればそこにて雌雄を決し申さう……」

二人は連れ立つて、空地に來る

互に三四間離れて相對峙した。

長十郎は、刀の柄に手を掛けた

平九郎も同じく刀の柄に手を掛けてゐる。

そのまゝ、ちつと睨めあつてゐた。

やがて、その間はヂリ〳〵とつまつて一間近くなつた時、長十郎はスラリと業刀を引き拔いた。

何となくぎこちない空氣が、流れてゐた

その時、庄兵衛は

「まあ、何れに致しましてもこの小娘を使つて卑怯にもおびき寄せたと合點してさけすむやうな口調で言つた

「ほう？して貴殿は？」

「御存知ない筈はあるまい、と存ずるが、横目長十郎こと平九郎も同じく刀の柄に手を掛けてゐる。

そのまゝ、ちつと睨めあつてゐた。

やがて、その間はヂリ〳〵とつまつて一間近くなつた時、長十郎はスラリと業刀を引き拔いた。

「ほう、これが中坊平九郎雌雄を決し申さう……」

「なるほどそれもよからう。」

「偶然の惡戲」

「ほう？」

「へエ、この方は小川町の先生で中坊平九郎さま……」

「なに？貴殿が梅吉の木劍を橫取り致したとな……」

「如何にも、故あつて橫取り致した、その理由は言はぬ、拙者とてそれを、あいそれとはお返し申す譯にはまゐらぬ、御入用とあらば刀に掛けてお受取り下され今は持參致しをらねども、内心面白くなかつた。それ

「あつ、小川町の大先生！」

と、とりなし顏に言つた

この時、長十郎の後に、一寸覗いたのであつた。

平九郎は、通りすがりに

長十郎は、おさちの聲を

その聲は歡喜　滿ちてゐ

「ほう？貴殿は？」

「御存知ない筈はあるまい、と存ずるが、橫目長十郎こと平九郎も同じく刀の柄に手を掛けてゐる。

そのまゝ、ちつと睨めあつてゐた。

やがて、その間はヂリ〳〵とつまつて一間近くなつた時、長十郎はスラリと業刀を引き拔いた。

「ほう、これが中坊平九郎雌雄を決し申さう……」

「なるほどそれもよからう。」

「偶然の惡戲」

「ほう？」

「へエ、この方は小川町の先生で中坊平九郎さま……」

「なに？貴殿が梅吉の木劍を橫取り致したとな……」

「如何にも、故あつて橫取り致した、その理由は言はぬ、拙者とてそれを、あいそれとはお返し申す譯にはまゐらぬ、御入用とあらば刀に掛けてお受取り下され今は持參致しをらねども、内心面白くなかつた。それ

「あつ、小川町の大先生！」

と、とりなし顏に言つた

この時、長十郎の後に、一寸覗いたのであつた。

平九郎は、通りすがりに

長十郎は、おさちの聲を

その聲は歡喜　滿ちてゐ

田毎の志るこ

ぞうに

電話六三二番

ミツウロコ煉炭

木炭不足の折柄無臭にして最も德用な木炭代用ミツウロコを御進め致します。是非御利用御用命を願ます

三菱ガソリン諸油類
ミツウロコ煉炭豆炭　特約店

市原商店

平市一丁目　電話二四四番

外科一般

內藏外科
肛門病科
皮徹科　專門
泌尿器科（婦人科）
生殖器科（性病科）

平市字鎌田町

白土醫院

電二七九

（入院隨意）

看護婦及
見習看護婦　募集

洋品婦人帽子

秋冬にかけて

防寒具とショール

可愛い子供さんの

服洋品とお帽子

豐富陳列して御座います

ヤルツ

平電四〇四一番

平病院

（平市元共濟病院跡）
（電話六四一番）

院主
醫學博士　鈴木定藏

內科　院長　鈴木定藏
小兒科　副院長　土井利明
內藏外科　副院長　高橋俊幸
一般外科
皮膚泌尿器科
レントゲン科
物理的療法科　院長　鈴木定藏
藥劑科　部長　吉本孝平

診療……每日午前八時ヨリ午後九時迄、夜間診療ニ從事ス（急患ハ此ノ限リニアラズ）

產婦人科專門

平市南町

根本醫院

（入院隨時）　電話三四番

御婚禮御着附

パーマネント　ウエーブ
洋和結髮　オゾン美顏術
御婚禮のかつらを御利用下さい
御染髮洗毛

美爪術電話

六七八營業所
五二五自宅

平市驛前

水野化粧院

書診

外科一般　內臟外科
レントゲン科　泌尿器科

北川外科

血液檢査每日
◎入院隨時

平市新川町［電四六四］

醫學博士　北川芳夫

療夜

◇藥品料理各種飼養

加奈陀系銀狐、純血エゾ狸
東北系多產種狸、フイッチ日本テン
大型種兎アンゴラ兎、雄子家禽各種

平產業養狸組合事務所
乾產業會社畜產部
國策アンゴラ兎採毛協會

福島縣磐城種畜場

內郷村境（平市外）

出張所　平驛前　電六四八番
分讓所　東京市淀橋區下落合

北里研究所製
◇ジステンパー豫防液
東亞製藥所製
綜合ビタミン劑
◇ヴイベリン末（動物わかもとの稱あり）
◇フイッシミール　藥養魚粉

病理研究、診療
藥養劑の配劑
飼育指導の需に應
擔任　獸醫師
技師

これは便利！

△手を荒さず
△絹、毛織物、木綿、スフの生地を傷めず
△つけておくだけで洗へる

㊛マルミ末粉石鹼

製造元　平市材木町一一

◇和文
歐文　タイプライター
◇最新事務用品類
◇文房具一式
◇製圖並に測量用品
◇謄寫版並に附屬品

平市銀座町田
東京都代理店　タイプライター
東京都所成堂　トヒタ

森藤

電話三七
替仙臺一五
〇番
〇番
（會商器用務事業）

おでん

お酒のあとにおけさめし

平市三田小路（三丁目裏）

おでん
茶めし
酒の家

味郷

毎度有難う御座います。

パン食普及の秋！

自慢の食パン　一斤十六錢

藥養パン　十五錢　バターロール二錢五厘
甘コッペ　十錢　チヨコレートロール五錢
クリームロール五錢　野菜サラダパン、カレーパン、カツパン

ベーカリー

東京堂

平市播磨小路［電話一〇八番］

◆內科、小兒科　院長　前田清美
◆外科（外科一般、內藏外科）
◆花柳病科　副院長　野村武一
◆X光線科（新設）
◆物療科（手術室入院室完備）

前田醫院

植田町本町　電話一二四番

ほれつぎ

桑原柔道整骨院

平市公園下電六七四

實株は買ツテ御手元へ必ヅ儲カル優良株

投資指針

●目下投資時代

平市四丁目三十三

富岡株式店

電話一九一

天に爆音、地に警笛
演習氣分今や最高潮
訓練第四日目點景

夜來の雨尚ほ歇まぬ昧爽午前五時少し前、寂寞を破る「空襲警報」に明け、軍民協同綜合訓練の第二期二日目今二十七日は、既往四日の統制荷もせぬ實戰さながらの演習に、三萬全市民の防空布陣は強化整齊今や全く完璧の域に入り、矢繼早の空襲警報に當面し、防護團家庭防空群の男女全參加者何れも頗る敏活な動作に一糸乱れざる訓練振りを發揮する一面、演習の雰圍氣に包まれて街ゆく人も通行停止その他一々メガホンの指圖に隨ひ、天に爆音、地にサイレンの慌だしい演習氣分最高潮のけふ今ら諸事豫定通りに進んでゐる

首腦部は「バケツの手送りもだいぶ改善されたやうだし命令一下一糸乱れぬ動作の見事さは先づ自慢してよいだらう、長期間だけに身体に注意し有終の美を收められんことを望んで已まない」とその活躍を激賞した

俄然土間へ落下
想定今や屋内へ進展

演習の進行と共に空爆は從來の屋外から今や屋上落下の想定に因る屋内に迄進み昨二十六日この新手の襲撃を受けた本町通り某商店では文字通り降つて湧いた椿事に土間ちう水だらけにしなど當面の除去消火に少からず狼狽したとの事であるが、これも當然あり得る事實であり、この場合は直に接觸せぬ様直にスコップ様のものにて掬ひ捨て、時を遝さず消火の急手段に出づべきで他の防空群中この旨各戸に新な注意を發したものもある

空をにらんで……
防空群の神經さがる

日本の防空姿そのまゝまどろむほど市民の大空に對する關心は刻々に強化されて行く、今早曉の空襲警報解除直後四倉海岸を北進する機影を逸早く認めた市の東部民は鳴り響く半鐘の裡に機影の沒するまで緊張の監視が續け午前九時第二次の空襲警報によつて『敵機御座んなれ』の態勢に入つた

防空群の訓練度胸つく
その活躍先づ萬點

家庭防空群は前回まで□警報が發令されるや相當狼狽したところも少くなかつたが今次訓練では各方面とも準備訓練を經てゐる關係からそれが全然見受けられずしかも訓練の進むに從つて『訓練度胸』がすはつた、とは演習の趣旨から云つて一大收穫と云へよう、市の

兩婦人會の合併に
平市の動きは?
後進大曲では既に決行

何れ劣らぬ尊い事業目的から事變下の感激を喚つて居る愛國、國防の兩婦人會は往々活動の内容と之に參加する人々同じうする點に於て寧ろ强靱な大同團結の促進るゝ如かぬではないかと云ふ議論が行はれ、先頭中央某方面の提唱に對し地方でも可なりの共鳴者が生にれらしく現在合計四千近の會員を有する平市のそれにも之に就て何らか新な考慮が行はるるではないかと觀られてゐた矢先、平市に比べ遙かに機構の小さい秋田縣大曲町の兩婦人會では既に先進都市に先んじて之を合併し近く正式發會式を擧行することゝなり少からず各方面の同一次議に拍車をてゐるので之を契機に平市にも左右の研究が行はれ初むるではないかと觀測される

鐵管破壞、水勢凄し
一、二丁目等七百戸斷水
けふ初の工作訓練好成績

平市に於ける今訓練最初の試みたる爆彈落下による水道破壞、工作班の大規模な訓練が第四日目の今二十七日午前十時の空襲警報發令後常陽銀行四ツ角で行れはた

―敵機空襲により常陽銀行角に爆彈投下せられる水道配水管十二米破壞され、市内の一部七百戸ために斷水此のまゝ放置せば全市給水不能となる虞れあるを以て三十分以内に復舊を要す

との想定の下頼げざまに落つる敵彈にも目怯げぬざましい家庭防空群の活躍によつて消し止めたが爆彈のため鐵管破壞、一、二丁目、鍛冶町、南町、紺屋町の一部約七百戸が斷水して破壞個所(消火栓)からふき上ぐる水勢物凄く忽ちあたりは水びたしと化しつつあるうちに急報に接し本部工作班五十名の應援を得てかけつけた市工務課員によつて敏速な復舊工事が開始され好成績のうちに終つた

尙この演習には青沼市長柴田署長をはじめ警防團幹部等指導階級の人々が大勢視察した

空襲への正認識
頼もしい市民の眞劍味

或る軍事通最近の發表に―英國の軍艦一隻を沈める爲め二百台の飛行機を用意して居ると云ふドイツの爆擊飛行隊は軍艦攻擊の猛訓練をなし驚くべき命中率を示して居ると傳へられるこの様な獨空軍は一ケ月に約一千台を造り得る、だからこの一千台が犠牲にする時毎月五隻の軍艦を葬ることになる。然るに軍艦は一隻を造るに二、三年を要するのではないか、第一線機既に三千五百乃至五千五百と云はれるドイツ空軍に對し英海軍の警備艦隊たるものどうして太刀打せんとするのだ、もとより數字の上では英佛兩空軍を合すれば殆ど互角の勢ひであるが製造能力に至つては英國は毎月五百乃至七百今後千二百乃至二千に擴張するらしく佛國は僅かに二、三百遠からず五百乃至千二百と云ふのろい擴張だ。聯合國がゲーリング獨空相に頭から甘く見られてゐるのも無理でない話である。英佛殊に英海岸がどうしてドイツの空軍とUボートと太刀打ちせんとするかは今後にかけられた大きな問題だがひゐき目に見んと欲しても英國側に勝味を見出し得ない。云々とある

○

九月一日、獨逸は英佛の波蘭保全に關する最後的提案を無視して、遂に大軍を波蘭國境に追擊せしめ、その陸軍は北東南の三方からひた押しに押し進み、空軍は各重要都市の軍事施設を猛爆し、波蘭軍必死の抵抗を制壓して開戰以來僅か一ケ月ならざるに殆どその全國土を席捲した。而して波蘭の心臓たるダンチヒを奪つたをはじめフランスのマヂノ線を脅かし内には己がヂークフリード線を泰山の安きに置く。ここにも空軍の威力が儼然と物語つてゐる。

○

近代戰に於ける空軍の威力は今次歐戰に於ける現實の教訓によつて彌々倍々その認識を深めしめられた。所謂防空思想こそは吾々近代人に植ゑつけられた最も重要な常識として昨今の防空演習に對する頼もしい全市民の眞劍振りもさこそと領かれる

大雨にどぜう豐漁
町の殺生好き喜ぶ

防空演習の昨第三夜を終始降りこめた豪雨は坪當り實に四二ミリ七〔七斗八升一合四勺〕未だ幸に刈り取り後の稻を流す程には至らなかつたが附近大小河川の増水は相當なもので、カラリと霽れ上つた今朝來、宛然赤馬の様な滔々たる濁水が奔つて居るが之の機に乘じ殺生好きの連中は朝まだきから最寄りの川に簀(ドウ)を掛けて、揚げる都度五合、一升と云ふ豐漁に北叟笑んで居る。而も穫ものゝ鰌は略ね一寸五分内外の今年の子で何に調理しても味覺上々、その一部は今夕頃町の店にも幾分出廻ることであらう

愛婦分會の慰問袋發送
割當二千個纏る

愛國婦人會平分會では既報の如く割當てられた二千個の慰問袋を主として會員間で調整したが大体纏つたので明二十八日發送する

銃後農村の勞力供出調査
郡下五ケ村を指定

軍需工場はじめ殷賑産業の勞力を供給して來た農村は最近自身が相當勞力不足に悩みやゝもするとその供給に圓滑を缺くので縣では中央の勞力調整計畫に從ひ農村の供出可能勞力を調査することゝなり本郡では泉、錦、渡邊、磐崎、赤井の五ケ村が四百圓の縣補助を受け主に青年學校、小學校卒業生に就き調査の上

(一)勞力供出の目標數

(二)勞力供出後の補充對策

を樹立する事となつたが前記指定村は十六才から三十五才までの青年層から二割以上の人員を送出してゐるところで、農村勞力の平等化の叫ばれてゐる今日この結果は期待される

農村活動促進打合
來月平市で

産業組合と農會と共同して農村振興に馬力をかけることになりさきに縣農會と産組との協議會を開いて根本方針を決めたが今度は來月九日平市團体事務所で郡區域農村對策活動促進打合會を開き農事實行組合を主体として共同作業の指導督勵計畫の徹底其他具体的打合せを行ふ

夜間は―交代制で待機せよ
防空群に市當局の注文

夜間就寢時間後の各方面に於ける空襲待機に關しては色々の見解が行はれ或る群長等の如きはその責任感から徹宵翌朝に及んだとの事であるがこれでは長期の訓練に耐へられなくなるので市當局では防空群單位に交代制の不寢番を設けるとか其他適當な方法を以て其間手ぬかり無きを期し又群長の夜食馳走、炊出しの寄附金募集等は訓練の趣旨から絕對つゝしむやう望んでゐる

飮み水を用意せよ
訓練中斷水實施
四家市防空主任の話

既に四日間を經てその訓練見るべきものあるが尙ほ市の四家主任は左の如く一般の注意を望んでゐる

△燈火管制。概して良好個々の室内は奥の遮光に注意する外店頭の隱蔽には必ず入口を二重裝置にする、又二階の完全遮閉が望ましい

△防空群。各家庭は斷水に備ふる消火用水の外飮料水もバケツに一つ位汲んで置く、水、砂等は終了後直に補給すること、前の訓練でも相當見受けたが未だ表通りにて一團となつて變に備へる向がある、熱心さは結構だが「自家防衛」の訓練に副はぬから各自家での監視が大切である

寫友會展
來月丸トモで

平寫友會では來月十一、二の二日間市内丸トモホールに寫眞展を開く

教育部會總會

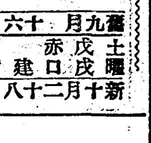
平市並に濱三郡下教育部會總會は來月十九日午前九時から小名濱小學校に開く

タバコ愈よ拂底
愛煙家に悩みの秋

秋一入うまいタバコながら昨今の配給不足に愛煙家は何れも大こまりの態である、つい此の間までは目貫き通りでは切れても裏廻り等へ行けば何とかありついたがきのふけふあたりの拂底ぶりは先づ近來にない悩みでありニコチン黨一同『買溜めも出來ないし……』と近來の煙草日でりにスッカリ悄氣返つてゐる

平市慶弔錄

△出生　新川町一三上野正巳氏長女淑子さん、材木町三六齊藤吉太郎氏四男隆雄君



新　十二月二十八日　土曜
舊　九月十六日　戊戌　赤口　建　胃宿

▲一白　殺氣充ちて時に或は口論を生ずることあり▲二黑　手心掛け引きの六ケ敷き日商事は殊に愼り▲三碧　文書の交換契約等には深き注意を拂ふべし▲四綠　自我の念をおさへ人に逆はずば無事なるべし▲五黃　初めは捗らざれど追々と順調に進み行くべし▲六白　次第に來る幸運を取逃さぬ樣に努力すべし▲七赤　已が欲する所に追々と近付き來るよろこびの日▲八白、約束事は當てにならぬ日後日にゆづるが安全▲九紫　淸じやうな旨としよく心を去り自然任せに動くべし

二十八日【小名濱驗潮所觀測】
滿潮　前二、五五　後二、三〇
干潮　前八、四五　後九、一五

特約店　文　魁文堂　電話313番

白梅便箋　忠孝便箋　文鳥便箋　菊日本便箋
香取封筒　住吉封筒　東亞封筒　松竹梅封筒

ミシン
平驛前大通り(シンガー)
石川ミシン店
世界代表　シンガーミシン
日本代表　アサヒミシン　ニツポンミシン
コントロール
◎月賦販賣　◎無料教授

開業
内臓外科　整形外科
平市大町二番地
(入院隨時)
内木外科醫院
醫學博士　内木宗八

純綿利用加工時代!
染め物は
質實と技術の優秀を誇る
迅速　叮嚀
吉田屋染工場
平市五丁目　電話五五八番

外科、内臓外科　エツキス光線科
院長　安齊徹
入院隨意
平市田町
安齊醫院
電話四七五番

淋病、婦人病
根治療法
(平市研町公園下)
自の魂理代店
高周波　HS線
樂生堂電療院
從來の療法で根治せぬ方は、先ずHS線の責任管治療には如何なるものか御相談下さい

夜間診療
胃腸性病專門
内科　胃腸病科　花柳病科　性病科　皮膚科
(見習看護婦募集)
松村胃腸性病科醫院
(平市南町電一〇七番)

耳鼻咽喉科專門
平市南町一六番地
(入院隨意　病室完備)
大和田醫院
電一七〇番

職工及見習工募集
平市月見町
合資會社　佐藤鐵工所
電話三六二番